

第7章 進捗管理

7. 1 進捗管理（PDCA）

水道ビジョンで提示した施策は、計画（Plan）を立て、それを実行（Do）し、評価（Check）を行い、改善（Action）する必要があります。

水道事業は、取り巻く自然環境の変化、財源、他部署との関連、住民の要望等により計画の変更を余儀なくされることがあります。図 7-1 のような行動サイクルで事業運営を行う必要があります。

評価に当たっては、外部見識者から意見を伺う必要もあります。

事業運営を行う上で最も重要なことは、市の発展形態、水需要などの将来予測と財源確保です。どの程度の財源が必要かを検討するためにアセットマネジメントを 3～5 年ごとに見直し、前もって必要財源の把握、対策を立てる必要があります。それにより中・長期的な視点で進捗管理を行っていきます。

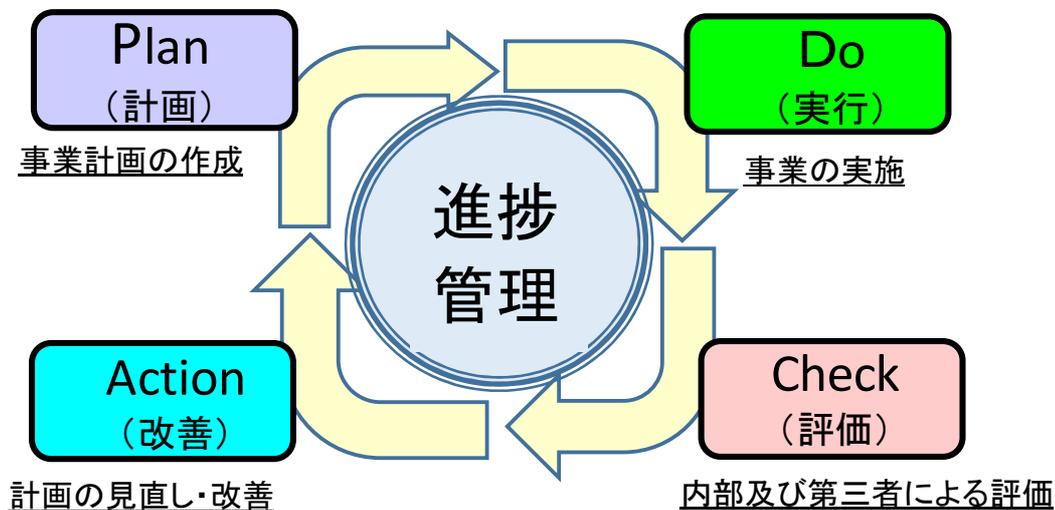


図 7-1 PDCA サイクル概念図